



# ひらかわ

# 市議会だより

## 第20号

平成22年12月15日

発行

平成22年  
9月定例会



## 平成21年度決算認定 一般会計歳出総額は158億9千500万円に!!

### 目次

◆平成22年第3回(9月)定例会(概要) .....	2
(審議した議案) .....	3~4
◆決算特別委員会 .....	5~7
◆議決一覧表 (第3回定例会、第2回・第3回臨時会) .....	8~9
◆市政に関する一般質問より(10議員) .....	10~15
◆平成22年第2回・第3回臨時会(概要) .....	16
◆所管事務調査報告 (建設経済・教育民生常任委員会) .....	17
◆議会の動き・編集室から .....	18

### たけっこくん 登場!

東北新幹線全線開業記念イベント《inいかりがせき》が11月21日にJR碓ヶ関駅で行われ、ゆるキャラ「たけっこくん」のお披露目が行われました。



(原画 工藤哲彦)

発行：青森県平川市議会  
編集：平川市議会広報特別委員会  
〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6  
TEL (0172) 44-1111 FAX (0172) 44-6988  
メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

【お知らせ】「市議会だより」はインターネットでもご覧になることができます。(平川市ホームページがリニューアルされました!)  
平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> →左下メニュー「市政情報」の「市議会」→「ひらかわ市議会だより」

# 決算特別委員会設置 第3回(9月)定例会



平成22年第3回議会定例会は、9月6日から17日までの12日間開催されました。

本定例会では、平成21年度一般会計などの決算を審査するために決算特別委員会が設置され、26件の決算について原案どおり認定されました。

また、条例改正案4件、辺地総合整備計画の策定について1件、一般会計を含む各会計補正予算案8件計13件は、付託された各常任委員会において慎重な審査の結果、いずれも原案どおり可決となりました。提出された請願3件のうち2件は不採択となり、採択された1件は、意見書が提出されました。

最終日に追加提案された工事請負契約の締結1件と消防自動車事故の和解の件1件、青森県市議会議長会主催の議員研修「議員の派遣について」はすべて原案どおり可決されました。

【会期日程】

9月17日(金)	9月16日(木)	9月15日(水)	9月14日(火)	9月13日(月)	9月12日(日)	9月11日(土)	9月10日(金)	9月9日(木)	9月8日(水)	9月7日(火)	9月6日(月)
本会議	(議案整理のため休会)	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	(休会)	(休会)	一般質問	一般質問	常任委員会	(議案熟考のため休会)	本会議

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を9月17日までの12日間と定め、諸報告が行われました。

市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、決算特別委員会が設置されました。直ちに、決算特別委員会が開かれ、単記無記名投票選挙により、委員長に佐々木利正議員が当選し、副委員長は指名推選により、大川登議員が当選しました。

各議案とも総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会及び決算特別委員会にそれぞれ付託とされ、初日の日程は終了しました。

3日目には常任委員会を開催し、4日目からは2日間にわたり10人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

6日から7日は休会で8日目から3日間にわたり決算特別委員会を開催し、平成21年度の決算審査を行い、すべて認定さ



れました。

最終日には、平成22年度一般会計補正予算案ほか7件、条例改正案等の議案は、原案可決となりました。また、追加提案された東部地区、碓ヶ間地域に光回線を敷設するための工事請負契約の締結1件と、平成20年7月に起こった消防自動車事故損害賠償の和解の件、青森県市議会議員研修会へ参加するため「議員の派遣について」は、原案どおり可決されました。



### 条例案

●平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例案（交付の日から施行）

平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営を定める。

【委員会質疑】  
問 詳しい内容について。  
答 選挙期間中の選挙運動用自動車借り入れ1日の公費負担限度額をハイヤー・タクシー・一般輸送契約で5万2500円、レンタカーや知人の自動車を使用した場合は

1万3650円、燃料代に7350円、運転手の報酬は1万円と提案するものである。

●平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例案（交付の日から施行）

平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営を定める。

【委員会質疑】  
問 詳しい内容について。  
答 ポスター作成の公費負担限度額について、1枚当たりの作成単価を347円16銭、企画費を13万6500円。平川市の

掲示板190カ所で算定した20万2540円で提案するものである。

### 条例改正案

#### さようなら

#### 小国小中学校

●平川市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例案（平成23年4月1日から施行）

平成23年度から小国小学校は竹館小学校へ、小国中学校は平賀東中学校へ統合し、教育関係の整備を行うため。

●平川市火災予防条例の一部を改正する条例案（交付の日から施行）

燃料電池発電設備の定義に固体酸化物型燃料電池を加え、個室型店舗に外開き戸の自動閉鎖装置を定める等、その他所要の改正を行うため。

【委員会質疑】  
問 ①固体酸化物型燃料電池とは。②平川市内で使用されている場所とは。  
答 ①水素と酸素を利用した電池。②発電の大きさが10キロワット以上に

●平川市火災予防条例の一部を改正する条例案（交付の日から施行）

燃料電池発電設備の定義に固体酸化物型燃料電池を加え、個室型店舗に外開き戸の自動閉鎖装置を定める等、その他所要の改正を行うため。

【委員会質疑】  
問 ①固体酸化物型燃料電池とは。②平川市内で使用されている場所とは。  
答 ①水素と酸素を利用した電池。②発電の大きさが10キロワット以上に

### その他

●東部辺地総合整備計画の策定について

東部辺地総合整備計画を新たに策定するため。

【内容】葛川診療の医療機器（自動分割分包機）は、昭和62年に購入したもので、薬処方にばらつきがあると、診療に支障を来たすため、早急に更新整備をするものである。

●工事請負契約の締結について

光ファイバー網を整備し、インターネット等の光ブロードバンドサービスの利用環境を整備し、光ファイバー網を利用して地上デジタル放送の難視聴解消を図る。

・工事名 平川市光回線敷設整備及び辺地共聴施設整備工事

・場所 東部地区及び碓ケ関地域

・契約の相手方 NTT

については届出が必要になるが、当市ではまだ届出がないため把握していない。

東日本株式会社青森支店 長 上西祐司

・請負代金 1億6905万円

【本会議質疑】  
問 工事の期間について。  
答 承認を得ると明日日本日から2月末までとなる。雪の多い地区のため、もつと早い時期をお願いしたいと思っている。（企画財政部長）

●和解の件について

平成20年7月7日に発生した消防自動車交通事故に関し、仙台高等裁判所秋田支部からの和解勧告により和解する。

・和解の相手方 大鰐町 高橋晃子

・和解の内容 ①平川市は、損害の賠償金として60万円を支払う。②高橋晃子は、①以外の平川市に対する全ての請求権を放棄する。

### 補正予算関係

#### 一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ6億4219万4000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ16億7217万2000円とする。

今回の補正の主な内容は、碓ケ関総合支所費の辺地共聴施設整備事業補助金705万円、予防接種委託料24万6000円、食育推進事業315万円、東北新幹線全線開業記念「ひらかわねぶたまつり」冬の陣」開催費362万8000円、防火水槽移設工

事61万4000円、金田小学校立木・工作物撤去工事895万円、起債の繰上償還5億7349万1000円等である。

また、その財源として地方交付税、諸収入、市債等を充当することとしている。

【委員会質疑】  
問 公債費の長期元金繰上償還の内容について。  
答 平成15年度債の平賀町総合運動施設整備事業の1・63%の長期債を繰上償還したもの。

**問** 児童福祉費の扶助費の減額について。

**答** 児童手当から子ども手当に変わったことによるものである。

**問** 金田小学校立木・工作物撤去工事は、立ち木の移植を考えているか。

**答** 移植ではなく、伐採の計画となっている。

**問** 野菜等生産力強化対策事業費補助金の減額理由について。

**答** 申込者が、補助率のよい別な事業に移ったため減額となった。

**問** 農地費の補償費の場所はどこか。

**答** 広船地区の内山農道である。

**国民健康保険特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1499万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を42億2132万1000円とする。

主な内容は、歳入では国庫支出金2255万1000円を追加し、繰入金755万7000円を減額する。歳出では、総務費174万円、諸支出金1325万4000円を追加する。

**老人保健特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ57万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ213万8000円とする。

歳入では繰入金39万4000円、諸収入18万5000円を追加し、歳出では諸支出金57万9000円を追加する。

**介護保険特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1165万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億6855万7000円とする。

歳入は国庫支出金23万9000円、支払基金交付金35万9000円、県支出金15万円、繰入金1091万1000円をそれぞれ追加し、歳出については、総務費1014万6000円、保険給付費119万6000円、地域支援事業費31万7000円を追加する。

**委員会質疑**

**問** 居室介護福祉用具購入件数と額について。

**答** 平成22年7月現在で、簡易トイレ19件、87万4829円。入浴補助

イスが14件、32万9724円である。年度末までに96件を見込んでいる。

**国民健康保険診療施設事業診療施設特別会計**

予算の総額から、歳入歳出それぞれ846万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億6659万7000円とする。

歳入では繰入金を846万4000円減額し、歳出では総務費を932万9000円減額し、公債費を86万2000円追加する。

**学校給食センター特別会計**

予算の総額から、歳入歳出それぞれ695万9000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億7992万9000円とする。

**委員会質疑**

**問** ネズミの被害対策について。

**答** 現在発生していないが、年に6回の業者委託

による駆除を行っている。

**水道事業会計**

収益的収支の支出について、人事異動に伴う人件費を53万円増額する。

**下水道事業会計**

収益的収支の収入について、一般会計補助金を302万5000円増額し、支出についてマンホール嵩上げ修繕費367万5000円を増額、人事異動に伴う人件費65万円を減額する。

**委員会質疑**

**問** マンホール嵩上げ工事が必要な理由。

**答** 道路の舗装補修工事に伴い路面が高くなるため、50力所分の予算である。

**請願書**

●遠位型ミオパチーの治療薬早期実現に関する請願書 (採 択)

・ 請願者 遠位型ミオパチー患者会正会員 小中誠

・ 紹介議員 (記名順) 工藤竹雄、木村兼由

●免税軽油制度の継続を求める請願書 (不採択)

・ 請願者 国民の食糧と健康を守る津軽地区連絡会

・ 紹介議員 齋藤律子

●「所得税法第56条廃止を求める意見書」を国への提出を求める請願書 (不採択)

・ 請願者 弘前民主商工会 婦人部

・ 紹介議員 齋藤律子

**議員提出議案**

●遠位型ミオパチーの治療薬早期実現に関する意見書(案)の提出について

△内容▽ 希少疾病のため、新薬の開発及び製品化には、製薬会社の協力が不可欠であるにもかかわらず非

常に困難である。よって、遠位型ミオパチーの治療薬早期実現のため、意見書を提出する。

**陳情書**

(配 布) 青森県保険医協会

●保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情

●小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成に関する陳情

●子宮頸がん予防(※)HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情

※HPV・ヒトパピローマウイルス。子宮頸がん発症の原因の一つといわれている。

**意見・要望書等**

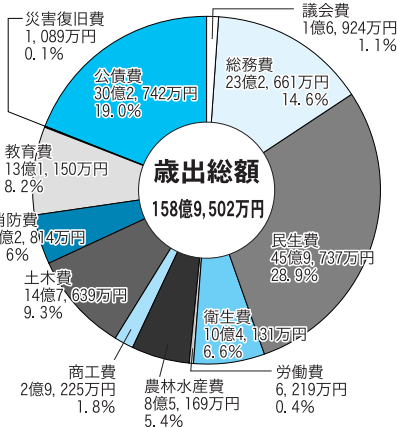
(配 布)

●全国シルバー人材センター事業協会、平川市シルバー人材センター

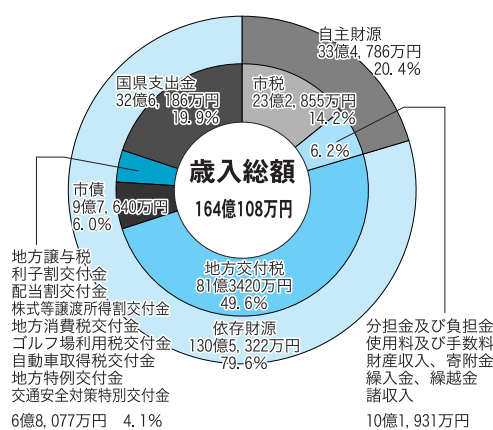
●超高齢化社会における「成長」を支えるシルバー人材センター活動への支援の要請

# 平成21年度一般会計決算 歳出総額158億9,500万円に

平成21年度一般会計歳出内訳



平成21年度一般会計歳入内訳



佐々木 利正 委員長

【歳入】

項目	割合 (%)	予算現額	調定額	収入済額	収入割合 (%)		
					予算対	調定対	歳入計対
自主財源	20.4	2,328,547,095	2,228,140,000	2,328,547,095	104.5	92.1	14.2
分担金及び負担金		211,993,000	240,198,901	219,447,051	103.5	91.4	1.3
使用料及び手数料		126,950,000	131,415,675	129,545,950	102.0	98.6	0.8
財産収入		40,284,000	41,441,150	41,441,150	102.9	100.0	0.3
寄附金		5,151,000	5,151,141	5,151,141	100.0	100.0	0.0
繰入金		122,033,000	122,033,300	122,033,300	100.0	100.0	0.7
繰越金		247,540,000	247,540,645	247,540,645	100.0	100.0	1.5
諸収入		241,209,000	285,509,976	254,154,917	105.4	89.0	1.6
依存財源	79.6	680,768,468	252,657,000	252,657,309	100.0	100.0	1.6
地方譲与税		8,087,000	8,087,000	8,087,000	100.0	100.0	0.0
利子割交付金		1,346,000	1,346,000	1,346,000	100.0	100.0	0.0
配当割交付金		594,000	594,000	594,000	100.0	100.0	0.0
株式等譲渡所得割交付金		296,250,000	296,250,000	296,250,000	100.0	100.0	1.8
地方消費税交付金		15,063,000	15,063,159	15,063,159	100.0	100.0	0.1
ゴルフ場利用税交付金		65,741,000	65,741,000	65,741,000	100.0	100.0	0.4
自動車取得税交付金		36,215,000	36,215,000	36,215,000	100.0	100.0	0.2
地方特例交付金		4,815,000	4,815,000	4,815,000	100.0	100.0	0.0
交通安全対策特別交付金		8,134,197,000	8,134,197,000	8,134,197,000	100.0	100.0	49.6
地方交付税		3,261,856,306	2,206,489,450	2,206,489,450	68.1	100.0	13.5
国庫支出金		1,052,152,000	1,055,366,856	1,055,366,856	100.3	100.0	6.4
県支出金		976,401,000	1,091,701,000	976,401,000	89.4	100.0	6.0
市債		16,401,084,023	17,422,314,000	16,656,048,457	94.1	98.5	100.0
歳入合計							

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

【歳出】

科目	予算現額	支出済額	繰越額	執行割合 (%)	
				予算対	歳出計対
議会費	169,404,000	169,236,153		99.9	1.1
総務費	2,806,883,000	2,326,609,868	477,497,000	82.9	14.6
民生費	4,619,520,000	4,597,366,789	5,371,000	99.5	28.9
衛生費	1,070,473,000	1,041,311,996	18,451,000	97.3	6.6
労働費	62,258,000	62,192,127		99.9	0.4
農林水産業費	870,716,000	851,693,686	17,450,000	97.8	5.4
商工費	302,235,000	292,250,573	9,485,000	96.7	1.8
土木費	1,833,937,000	1,476,394,917	356,195,000	80.5	9.3
消防費	784,598,000	728,141,596	54,130,000	92.8	4.6
教育費	1,817,468,000	1,311,502,001	465,643,000	72.2	8.2
災害復旧費	11,078,000	10,894,054		98.3	0.1
公債費	3,027,426,000	3,027,424,470		100.0	19.0
予備費	46,318,000	0		0.0	0.0
歳出合計	17,422,314,000	15,895,018,230	1,404,222,000	91.2	100.0

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

決算特別委員会は、9月6日組織会を開催し、単記無記名投票の結果過半数以上を占め、委員長には佐々木利正委員が当選しました。その後、指名推薦により副委員長には大川登委員が選任されました。

その後13日、14日、15日の3日間にわたり、一般会計を含む特別会計及び企業会計26会計の平成21年度決算認定について、各委員から活発な質問が行われました。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計については賛成多数で、その他予算案については、全会一致で認定されました。

※質疑等については要約して掲載しています。

一般会計の決算状況

# 決算特別委員会 決算審査



おおかわ のぼる 大川 登 副委員長

## 一般会計

### 歳入全般

質疑

問 市税の徴収率について。

答 市税全体で現年度分が97・3%である。

問 保育料滞納繰越分の不納欠損額27万6000円について。

答 平成14年度分1件、平成15年度分1件の2件で、既に連絡がとれず所在不明でやむを得ず不納欠損したものである。

問 奨学金返還の滞納が全国的に問題となっているが、①当市では何人いるのか。②貸付利率は。答 制度上毎年返還するものなので、重複するが、

## 衛生費

質疑

問 不法投棄物撤去委託料の内容について。

答 市民課への通報や、パトロールによって発見された不法投棄物で、職員で行うことができない大型の物等は、業者に委託して処分を行う。昨年度、平賀地域7カ所、尾上地域4カ所、碓ヶ関地域4カ所の合計15カ所分で378万円である。

## 農林水産業費

質疑

問 夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業補助金で、「飛躍産地」とあるが、①今後の展望について。②どういう形で市場に出ているのか。

答 ①作目としては、非常に有望であると考えている。今後とも県と一緒に進めていきたい。②JA津軽みらい經由や他の市場等、一つの流通経路ではない。

## 民生費

質疑

問 生活保護世帯・人員は昨年度と比較してどうなっているか。

答 平成21年3月保護世帯321、保護人員が423人。平成22年3月末では保護世帯が340、人員が465人と増加傾向にある。

問 生活保護世帯・人員は昨年度と比較してどうなっているか。

答 平成21年3月末保護世帯が321、保護人員が423人。平成22年3月末では保護世帯は340、人員が465人。8月末では保護世帯が361、保護人員が361人と増加傾向にある。

## 労働費

質疑

問 ①雇用調整助成金②緊急雇用奨励金について。

答 ①昨年度国の景気対策で景気の変動、産業構造の変化等の経済上の理由で事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に国と市で助成したもので、平川市では5社が助成を受けた。②市民の離職者、学卒者を常用雇用した場合に、事業主に対し奨励金を支給し、8社と2農業者で10社に支給した。

## 商工費

質疑

問 さるか荘足湯設置工事で、「屋根が短い」、「対面できない」、「幅がせまい」等利用者の評判が聞かれるが、なぜそうなったのか。

答 当初、ボートが浮かんで噴水のある池を見ながら対面せずに座る、屋根も短くていいという考え方であった。場合によっては対面するというところで、座布団を模した石を半分ずつずらして座れるようにした。

## 教育費

質疑

問 当市の要保護・準要保護生徒援助費の状況について。

答 小学校の要保護13名、準要保護127名。中学

のを直播して収量を上げる実験をJA津軽みらいと半分ずつ事業費を出している。③稲わらの有効活用を図るため、2農生産組合に対してロールペー1台の4分の1を助成した。

校では要保護12名、準要保護102名である。割合はふえてきていると認識している。

**問** 外国語助手について。

**答** 常時2名採用しており、中学校4校を基本に英語の授業で英会話を中心に指導している。小学校にも回数は少ないが行っており、2年をめどに交代する。地域の文化を知るといふことで、市内に住んでイベントや学校行事に参加して活躍している。

**問** アスベスト分析調査委託料の結果と、今後まだ調査するところがあるのか。

**答** 全調査は終了しているが、法改正により項目の変更が生じたので、新たに調査した結果、すべてアスベストなしという報告を受けている。

**反対討論**

齋藤 律子 議員

決算規模は大きくなったが一時しのぎで、窮地に追い込まれた経済、市民のくらし、雇用など改善するには至っていない。

い。国・県の方針を踏まえ、平川市の行政改革大綱や集中改革プランと連動し、財政の圧縮に努めた、相変わらず行財政運営や市民のくらしにとっては、窮屈な厳しい内容になっている。

**賛成討論**

對馬 實議員

財政が厳しい中、当市は黒字決算で、市長及び当局はもとより市民各位の努力のためものである。さらなる事務事業の合理化、定員管理の適正化に務め、今後も財政健全化を目指し努力を願う。

**国民健康保険特別会計**

**質疑**

**問** 保険給付が前年度と比較して8200万円ほどふえている。ジェネリック医薬品使用は、患者の負担も安く、行政の負担も少なくなるので、すすめることはできないか。

**答** 保険証更新時に「ジェネリック医薬品を使い

ましよう」という小さなカードを封筒の中に入れており、ぜひとも普及させたいわけで、ジェネリック医薬品に対する努力をもう少ししてみたい。

**反対討論**

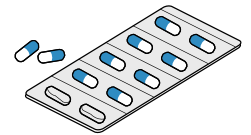
齋藤 律子 議員

国保会計は構造的な問題があり、担当課の努力だけではどうにもならない問題を抱えている。国庫負担をふやし保険税引き下げの政策を打ち出さない限り一向に改善されない。このことを国に対し強く求める意味でも認めるわけにいかない。

**賛成討論**

齋藤 正明 議員

保険税収入の減少はあるが、県内10市において最高の収納率で経営努力が認められる。保険給付費は3・1%の伸びで増加傾向にあるが、適正かつ安全な医療給付が受けられ、安定した国保運営事業がなされている。



ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、特許権が消滅した先発医薬品について、治療学的に同等であるものとして製造販売が承認されたもので、開発費用が安く抑えられるため、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。

**介護特別会計**

**質疑**

**問** 介護認定審査会費で、4月から認定制度の見直しが行われたが、見直しが介護度が下がった方はどれくらいあったのか。

**答** 要介護度認定調査票

の調査項目の中身が変更され、従来より介護度が低く認定されたというところを受け、改めてもう1回内容の変更があり、すべて修正されたと聞いている。

**反対討論**

齋藤 律子 議員

第4期介護保険事業計画に基づき執行された決算で、65歳以上の第1号被保険者の大幅な保険料引き上げが盛り込まれ

**賛成討論**

工藤 竹雄 議員

介護保険は、みんなを支えあう制度である。介護保険を健全に運営していくためには、負担割合をもとに財源を確保し、サービス事業を受けるために必要である。

っており、ますます負担増になったことから反対する。

**水道事業会計**

**質疑**

**問** 受水費が高いと思うが、当初決めた人口に基づいての金額である。人口は合併した時点から見ても3000人くらい減少しているため、津軽広域水道企業団へ受水費の見直しを求める考えはあるのか。

**答** 津軽広域水道事業団の第3次財政収支計画が平成22年度で終了するので、平成23年度の第4次計画の見直しの時点で平川市として意見を述べていきたい。

平成21年度 各会計の決算状況

会計名	収入額	支出額		
一般会計	164億 108万 4千円	158億 9,501万 8千円		
特別会計	国民健康保険	43億 2,180万 9千円	42億 5,526万 8千円	
	老人保健	1,016万 0千円	1,016万 0千円	
	介護保険	29億 9,967万 7千円	29億 6,123万 8千円	
	後期高齢者医療	2億 3,822万 8千円	2億 3,745万 4千円	
	診療所	3億 6,649万 1千円	3億 6,649万 1千円	
	学校給食センター	3億 9,740万 2千円	3億 9,740万 2千円	
	尾上地区住宅団地温泉事業	1,857万 7千円	1,454万 7千円	
簡易水道	1,702万 3千円	1,702万 3千円		
計	247億 7,045万 0千円	241億 5,460万 2千円		
企業会計	水道事業	収益的	5億 8,089万 9千円	5億 1,141万 9千円
		資本的	4億 991万 7千円	7億 611万 8千円
	下水道事業	収益的	9億 5,423万 5千円	8億 9,358万 8千円
		資本的	10億 7,725万 1千円	13億 7,435万 8千円

※千円未満は四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

## 平成22年度 第3回定例会

## 議 決 一 覧 表

議案 番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
59	平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
60	平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用ポスター作成の公営に関する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
61	平川市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
62	平川市火災予防条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
<b>【その他】</b>						
63	東部辺地総合整備計画の策定について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
98	工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
99	和解の件について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
<b>【補正予算案】</b>						
64	平成22年度平川市一般会計補正予算案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
65	平成22年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
66	平成22年度平川市老人健康保険特別会計補正予算案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
67	平成22年度平川市介護保険特別会計補正予算案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
68	平成22年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
69	平成22年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
70	平成22年度平川市水道事業会計補正予算案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
71	平成22年度平川市下水道事業会計補正予算案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
<b>【歳入歳出決算】</b>						
72	平成21年度平川市一般会計歳入歳出決算認定	原案認定	起立多数	決算特別	原案認定	起立多数
73	平成21年度平川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	起立多数	決算特別	原案認定	起立多数
74	平成21年度平川市老人保健特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
75	平成21年度平川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	起立多数	決算特別	原案認定	起立多数
76	平成21年度平川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	起立多数	決算特別	原案認定	起立多数
77	平成21年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
78	平成21年度平川市学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
79	平成21年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
80	平成21年度平川市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
81	平成21年度平川市水道事業会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
82	平成21年度平川市下水道事業会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
83	平成21年度平川市広船財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
84	平成21年度平川市小和森財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
85	平成21年度平川市荒田財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
86	平成21年度平川市大坊財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
87	平成21年度平川市石郷財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
88	平成21年度平川市館田財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
89	平成21年度平川市柏木町財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
90	平成21年度平川市大字大光寺財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致



議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
91	平成 21 年度平川市平田森財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
92	平成 21 年度平川市新尾崎財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
93	平成 21 年度平川市新館財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
94	平成 21 年度平川市沖館財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
95	平成 21 年度平川市葛川財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
96	平成 21 年度平川市吹上・高畑財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
97	平成 21 年度平川市碓ヶ関財産区特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	全会一致	決算特別	原案認定	全会一致
<b>【議員提出議案】</b>						
5	遠位型ミオパチーの治療薬早期実現に関する意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
<b>【議員派遣】</b>						
4	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
<b>【請願】</b>						
7	遠位型ミオパチーの治療薬早期実現に関する請願書	採 択	全会一致	教育民生	採 択	全会一致
8	免税軽油制度の継続を求める請願	不採 択	起立少数	建設経済	不採 択	全会一致
9	「所得税法第 56 条廃止を求める意見書」を国への提出を求める請願書	不採 択	起立少数	総務企画	不採 択	挙手少数
<b>【報告】</b>						
4	平成 21 年度平川市健全化判断比率について					
5	平成 21 年度平川市資金不足比率について					

## 平成22年度 第2回臨時会

## 議 決 一 覧 表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
<b>【その他】</b>						
100	財産の取得について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—

## 平成22年度 第3回臨時会

## 議 決 一 覧 表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結果	備考	付託先	結果	備考
<b>【条例改正案】</b>						
101	平川市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
102	平川市特別職の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
103	平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
104	平川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立多数	付託省略	—	—
<b>【専決した補正予算】</b>						
8	平成 22 年度大坊財産区一般会計補正予算	原案承認	全会一致	付託省略	—	—

**【おわびと訂正】** ひらかわ市議会だより第 19 号（平成 22 年 9 月 15 日発行）  
 10 ページ齋藤律子議員の一般質問の要約の中で、上から 2 段目「市長」の答弁中「③対象者は 6 年生が 155 人、中学 1 年生が 158 人で計 31 人。」と掲載されていました。計 31 人ではなく計 313 人の誤りでしたので、訂正いたします。

# 市政に関する一般質問より

●9月定例会では、9日(木)と10日(金)の2日間にわたり、10人の議員により一般質問が行われました。  
 ●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。  
 議案の質疑とは別に通告が必要です。当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。



平成22年第3回(9月)定例会 一般質問傍聴席

## 1. 古川 敏夫 議員

〔一括質問方式〕

1. 高齢者福祉について
2. 地域活性化事業(平賀駅前イルミネーション設置事業)について

## 2. 大川 登 議員

〔一括質問方式〕

1. 消防本部の環境整備について
2. 観光整備(猿賀公園周辺)について

## 3. 今井 章也 議員

〔一括質問方式〕

1. 津軽みらい農協のカントリーエレベーター新設に対する要望書について
2. 平川診療所の今後のあり方について

## 4. 工藤 竹雄 議員

〔一括質問方式〕

1. 学校教育について
2. 教育行政について

## 5. 齋藤 剛 議員

〔一括質問方式〕

1. おのえスポーツセンターについて
2. 大木平の道路について

## 6. 小野 長道 議員

〔一問一答方式〕

1. 県道金屋尾上線交通安全施設整備事業について

## 7. 福士 恵美子 議員

〔一括質問方式〕

1. 環境問題(ごみ対策)について
2. 平賀駅前広場化粧室について
3. 自殺防止対策について
4. 市政への市民参画について

## 8. 齋藤 政子 議員

〔一括質問方式〕

1. 米粉の消費拡大について
2. リンゴについて
3. 東京津軽平川会との交流について

## 9. 小野 敬子 議員

〔一括質問方式〕

1. 地域コミュニティ育成事業について
2. 児童虐待について

## 10. 齋藤 律子 議員

〔一問一答方式〕

1. 観光行政について
2. 津軽地域消防広域化について
3. 国保税について
4. 平川市食育推進計画について

平賀駅前広場にイルミネーションを実現し、夜の観光名所に！

○高齢者福祉○地域活性化事業(平賀駅前広場イルミネーション事業)



古川 敏夫 議員

高齢者福祉事業についての取り組み状況

古川 ①平川市の高齢化状況②高齢者単独世帯の安否確認の方法。③少子化の進行や地域社会の機能や世帯構造の変化により、高齢者福祉のあり方が改めて問題となっているが、平川市においての取組状況と具体的な内容について。

市長 ①7月31日現在で、高齢者人口は9233人。人口3万4191人に対して高齢化率27%。高齢者のみの世帯状況(住民基本台帳で施設入所者を除く)は1988世帯、単身世帯は919世帯。

②社会福祉協議会に委託しているほのぼのコミュニケーション事業のほのぼの交流協力員と町会等の協力を得て、日常生活の中で安否確認を行っている。また、福祉安心電話で緊急時の対応を含め定期的に安否確認を行っている。③65歳以上の高齢者に、高齢者ふれあいセンターや地域福祉センターで無料入浴できるサービス事業や生活支援ハウス運営事業、高齢者世話付住宅管理運営事業、東部デイサービスセンターのほか、社会福祉協議会でひとり暮らし高齢者会食サー

ビス等の事業等を行っている。

平賀駅前広場にイルミネーションを設置する考えはないか

古川 今年の12月4日東北新幹線全線開業となり、我が市でも11日、12日に「冬の陣」ということでねぶたが予定されている。平賀駅前の休憩所や立ち木にイルミネーションが実現できれば、夜の観光名所になると思うが、工費はどのくらいかかるのか。  
市長 平賀駅前の活性化及び集客については、当市の課題でもあり、積極的に取り組む必要があると考えているが、当広場は交通の連結地点で、県道の附帯施設でもある。交通障害や費用対効果など調査・検討が必要。  
建設部長 休憩所で200万円、立ち木1本では13万円ほど必要であると予想している。

観光地にあるまじきずさんな看板、周辺についても整備を！

○消防本部の環境整備○観光整備(猿賀公園周辺)



大川 登 議員

女性消防士第1号が採用されたが、受入態勢は整備されているのか

大川 ①全国的に見ると遅すぎるが、女性消防士採用に踏み切った経緯について。②生理的な違いを考慮した受入態勢は、どれくらい整備されているか。③消防活動についての扱いについて。  
市長 ①過去に女性が応募したのは1例で、採用に至らなかった。今回、採用試験の成績の結果、女性消防士が誕生した。②女性用トイレは、前から整備されている。今回の女性消防士採用に当たり、ロッカー室を仮眠室に改修し、仮眠室内にロッカー、洗面台を設置した。シャワールームは、男女で使用する時間帯を

分けて使用し、施錠できるのでプライバシーは確保できると考えている。③研修終了後の11月からは、男子消防職員と同様の勤務となる。

猿賀公園周辺の道路や歩道の整備が必要

大川 国指定名勝「盛美園」、「清藤氏書院庭園」は、個人所有で個人が管理しているが、その周辺の①案内板や②駐車場への誘導標、  
③観光地に見合う道路の整備など、行政がやるべきこととはあるのではないか。  
市長 ①案内板については、隣のロマン館の案内板に、東側にも同様の案内板

を掲げて対応したい。②猿賀公園の駐車場から歩いて盛美園に誘導できる誘導表示を検討する。③駐車場からの道路は市道であるが、都市計画道路として認定されている。事業着手から完成までは4、5年くらい必要とされているので、舗装面の継ぎはぎはオーバーレイ等の対応を考えている。カラー舗装は可能なので、今後考えたい。



猿賀公園の駐車場からロマン館へ渡る道路

# 平川診療所の公的役割は終わったのではないか！

○津軽みらい農協のカントリー新設○平川診療所（今後のあり方）



今井 章也 議員

津軽みらい農協のカントリー新設に対する要望書について

今井 ①今後の計画、実施年度。②当市の対応について。③支援の方法。

市長 ①「農協が事業主体となつて事業実施する場合には、議会の了承を得ながら建設費を助成する方向で検討したい」と回答しており、正確な実



名（常勤医師）、嘱託医師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師が各1名、看護師7名、事務員3名の計15名。②平成19年度59人、平成20年度60・4人、平成21年度59・4人。③平成19年度は1億138

施年度は、今月25日に開催予定の総代会での結果を待ちたい。②③農協が事業主体となつて実施する場合には、改めて農協から要望書が出された段階で、支援方法や支援割合について検討したい。

平川診療所の今後のあり方をどう考えているか

今井 ①医師を含めた職員数の現状。②1日平均利用者数。③一般会計からの繰入額。④今後の方向性について。

市長 ①所長1名（常勤医師）、

万311円、平成20年度は1億2497万3701円、平成21年度は1億1225万5990円。④公的な診療所として医療スタッフを配置していることで、一つの簡潔した医療サービスを提供できていると考えている。今後の方向性については、旧平川病院全体の建物と敷地の処理問題も含めて、副市長をトップに係職員による検討会を設置し、12月までに結論を出す予定。検討会の報告を受け、関係者の意見を聞きながら総合的に判断したい。

今井 赤字額の主な原因は何か。

平川診療所事務長 診療収入に対して職員の人件費の占める割合が大きいことが主な原因。また、施設や設備の老朽化による修繕費がかさんでいる。

今井 確かに公的使命はあるが、民間でやれる場合はいらぬのではないか。

# 新学習指導要領改訂でふえる授業時間、教育長の見解を！

○学校教育（市長の姿勢） ○教育行政（新学習指導要領の改訂）



工藤 竹雄 議員

教育に対する市長の姿勢を問う

工藤 教育委員会「平川市の教育要覧」には、学校教育の指導方針と重点が示されているが、市長の教育に対する考え、姿勢はどうなのか。

市長 学校教育の重点性は認識している。確かな学力を身につけさせ、子供たちの生きる力と、元気で楽しい学校生活がで



きるように最善を尽くしたいと思つている。

新学習指導要領の改訂についての見解

工藤 ①改訂のポイント は、科目によって異なるが10%から20%授業時間をふやし、総合的な学習時間の縮減である。10年間で、ころころ変わる教育現場の反応と教育長の見解を問う。②「平川市の教育 要覧」授業の充実が記述されているが、重点策となる指導方法とは。③特別支援教育に在籍する児童・生徒の現状と重点策。

教育長 ①生きる力をつけるためには、確かな学力が必要ということ、授業時間がふえた。ふやした時間で、できるだけ落ちこぼれをなくし、復習を含めて基礎的・基本的な力をつけ、その知識・技能を活用して、自分の頭で考えて判断できる力を身につけた人をつくつ

ていきたいというのが、今回授業数をふやした一番の要因である。調査は特にしていないが、先生方の意見では、わからない生徒がわかるように教えることができる時間にしたいということであるから、おおむねいい方向にいくと思う。②「私たちの平川市」という副読本を発行し、生徒たちの興味・関心をもつ教材の開発や、平川市独自の学習支援員を配置し、学力向上に取り組んでいる。新設された外国語活動の指導についても、小和森小学校を中心にした計画を各学校に進める努力をしていきたい。

教育委員会事務局長 特別支援学級は小学校7校で11名、中学校3校で8名在籍している。知的や情緒、肢体不自由と、その程度も一人一人違うので教師・生徒が一体となり、学校全体で特別支援推進を図っている。

市民にとって不具合なものには、早めの対処、判断を！

○おのえスポーツセンター（プール・イベント広場） ○大木平の道路



齋藤 剛 議員

危険な建物は早期に解体し、有効活用すべきでは

齋藤 ①B & G財団から

寄贈されたおのえスポーツセンター内にある屋外プールは、去年まで27年間使用されてきたが、老朽化のため、今は子供たちが近づかないように、



イベント広場（おのえスポーツセンター内）床ははがれてぼろぼろになっている。老朽化が進み、入口にはロープが張られ使用禁止となっている。

ようにしたい。②老朽化が激しく、利用者が全くないことから解体・撤去し、サブグラウンドとして利用する計画である。齋藤 お金は必ずかかるので、壊さなくてはいけな物は、事故の

「無用の長物」として管理しているだけである。プールを早めに解体し、隣接している野球場の駐車場にすることが望ましいと思うが、考えを寄せ。

②同じくイベント広場も危険で汚い状態で、今も使用禁止となっている。サブ球場や練習場として使うつもりはないか。

市長 ①あのままにしておくで大変であると認識している。議会が終わればB & Gと連絡をとり、解体のお願いに行き、解体後は駐車場等に使える

ようにしたい。②老朽化が激しく、利用者が全くないことから解体・撤去し、サブグラウンドとして利用する計画である。

ないうちに早めの判断を。

大木平への生活道路のU字溝の修理を早急に

齋藤 国道102号線から大

木平までの約1・5キロメートルの道路は、町会で草刈やU字溝の泥上げをしたり、頻繁に維持管理をしてきたが、50年経過し、U字溝はつぶれているので、掃除もできない。流出物がたまるので、水があふれ、その結果路肩が崩れたり、ガードレールが落ちていたりして危険である。

市長 大木平町会と現場確認をし、現在側溝整備工事を発注している。他の場所についても計画的に整備を進めていきたい。ガードレールの整備については除雪等の関係もあるのですが、町会と協議をしながら、危険箇所から補修計画をしていきたい。

齋藤 お金は必ずかかるので、壊さなくてはいけな物は、事故の

歴史ある金田小学校の桜と松の木を残すことはできないか！

○県道金屋尾上線交通安全施設整備事業（金田小学校の立ち木と生け垣）



小野 長道 議員

金田小学校の桜、松、生け垣をどうするか

小野 金田小学校設置当

時、記念樹として植えた松の木、桜の木が100年以上過ぎていて。先人たちが守ってきたもので、毎年春には満開に桜の花が咲く。こんな年数の古い



金田小学校の松や桜の木。現在は工事が進み撤去されている。

桜、黒松は少ないそうであるが、金田小学校前の歩道整備事業にかかわる立ち木等を移植するのか、伐採するのか。また、生け垣はどうするのか。

市長 歩道設置のための道路拡幅工事で、6月3日に門柱6本、四つ目垣156メートル等の物件移転補償契約を締結している。質問にある立ち木は、樹高、枝幅ともに10メートル以上あり、老木のため伐採で計画している。生け垣については、道路拡幅工事が完成後、野球

の防球ネット等の外溝工事と一緒に、学校・PTA・学区住民の意見を参考にしながら計画したい。

小野 物件の移転補償契約を結ぶ前に、いろんな意見を聞いたのか。教育委員会事務局長 去年から話があった。そのため、建設部と協議をしながら、学校側、PTAをはじめ地域の方々の意向を伺っていた。

小野 今、伐採するという計画について、学区住民から「切るの嫌だ。」という声は寄せられている。何本か移植できないか。

市長 切るということで契約をしている。確かに、残したい気持ちもわかるが、業者も移植に関しては、責任問題確実に大丈夫だという保証はできないという話であるため、切る物は切つて、かわりに記念樹のようなものを植えるなどの方法を講じている。

齋藤 お金は必ずかかるので、壊さなくてはいけな物は、事故の

いま一度、ルールを守るシステムを市民にわかる形で周知を！

○ごみ対策 ○平賀駅前広場化粧室 ○自殺防止対策 ○市政への市民参画



福士 恵美子 議員

リサイクル状況はどうなっているか

**福士** ①ごみ対策としてリサイクル状況はどうなっているか。②資源ごみ回収ステーションの拠点箇所の状況。③古紙回収ボックスの状況。④ルールの徹底について。

**市長** ①リサイクル率は平成18年度12・7%、平成19年度13・5%、ごみの有料化が開始した平成20年度には16・1%と上昇傾向にある。全国平均の20・3%に比較するとまだ低い状況。②平成22年4月から本庁舎、尾上総合支所、碓ヶ関総合支所に設置し、7月までに回収した資源ごみの量は3万2152キログラムで、回収量は増加傾向である。③平川市リサイクル協議会が平成21年12月から実施しており、平成22年7月までに1万2461キログラムの古紙が回収されている。④限りある資源を有効に活用するため、その他のプラスチックを資源ごみとして扱うので、当市に引越しされてきた方にとつては、分別方法が違ふと戸惑うこともあると思



4月から3地域に設置している資源ごみ拠点回収ステーション (写真は尾上総合支所)

うが、リサイクル率向上のため

に協力を願う。広報、ホームページ、チラシ等で周知し、各町会に配置している分別指導員と連絡をとりながら、マナーの向上に努めたい。

平賀駅前広場の化粧室に洋式トイレを設置する考えはないか

**福士** 多目的トイレが使えないとき、別なトイレは和式だけである。循環バス利用者で、多くは高齢者が利用しているの

で、男女各1室でも洋式トイレにしたらどうか。はできないか。  
**市長** 事務事業評価の中で、利用者の利便性向上のために、洋式トイレに改善する必要があると評価され、検討した経緯がある。その結果、既存の施設であるため、一部を洋式トイレに改善する方向で考えていきたいと思

県内でも動き出している！米・米粉普及に向けて勉強を！

○米粉の消費拡大 ○リンゴ ○東京津軽平川会との交流



齋藤 政子 議員

米粉消費拡大に向けて委員会設置や研修を

**齋藤** 議員研修(6月29日(7月1日)で視察してきた米粉製造工場等は非常に有意義であった。県内でも、米粉粉砕機械を導入した団体や、米粉パンを学校給食に取り入れているところもでてきている。当市でも、米と米粉の消費拡大に向けて委員会を設置していく考えはないか。



今年の8月から、お酒やワインに世界一のねぶたのラベルを使用したおみやげをカサイ食品センター(平賀駅前)で扱っています。ねぶた絵入りのリンゴジュース缶は、取り扱いを希望する業者は今のところはない。

**市長** 米集荷事業者である津軽みらい農協では、米粉の製パン・麺・製菓業者の実需者を確保できないため、今年は、当市から米粉用の米は集荷しない方針と聞いているが、地産地消を進める意味からも、米粉用粉の加工方法、米粉製品に関して勉強していく必要があると思

っている。市内業者からも細微粒の米粉が欲しいという話も聞いている。どういふふうなことをすればいいのか、業者だけでなく直売所関係の人なども含めて、どんな製品がいいのか、勉強会や研修会を開催し、必要であれば委員会等つくるよう検討してまいりたい。

世界一の扇ねぶたの絵入り缶ジュースを特産品に

**齋藤** ①県外で平川市をアピールするには、特産品の開発が必要。世界一のねぶた絵のついたリンゴジュース缶が一番いいと思うが、市の考えを示せ。②ツルワレりんご対策プロジェクトチームのその後について。

**市長** ①平川市を印象づけるために、世界一のねぶた缶ジュースは有効であると考えるので、ラベルとなる写真の版權使用を許可して、製造から販路まで総合的に取り組んでくれる事業者を探したいと思

# コミュニティ育成事業奨励金を継続し、市全体の活性化に！

## ○コミュニティ育成事業○児童虐待（防止対策・家庭教育）



小野 敬子 議員

コミュニティ育成事業奨励金の継続について

小野 平成22年度から地域コミュニティ育成事業奨励金として、各町会への補助金がアップされて支給されたことで、今年の夏は、納涼祭や公民館祭りがぎやかに行われたようである。各地域が、自分たちの地域のことを考え、自分たちで何か行動する体制ができてくれ

ば、平川市全体の活性化につながってくる。この奨励金継続を望む声があるが、市長の考え方を伺う。

市長 来年度における事業の継続については、行政委員の会議において意見を聞きながら検討することとしている。この奨励金が地域のために有効的に活用されているというところで、前向きに検討したい。

しつけや教育の基本は家庭教育にあるのでは



小野 青森県内で虐待相談処理件数が平成18年度332件、平成20年度445件と増加している。平川市は、平成21年度で弘前児童相談所への相談件数は93件であるが、市への相談件数は3件となってい

る。①この状況を把握しているか。②当局はどのような虐待防止対策を講じているのか。③しつけや教育の基本は家庭教育にあると思うが、教育長の見解を伺う。

市長 ②集団健診では、医師の診察時に発育状態のほか、体にあざ等がないか確認し、親が子育てに対し不安やストレスがないか相談を受け対応している。「こんにちは赤ちゃん事業」、「子育てひろば」などで保護者の不安や悩み等の相談を受け、虐待防止、子育てに対する安心感の提供をしている。

教育長 ①真つすぐ児童相談所に行くということ、教育委員会として考えなければならぬ問題だと思ふ。③虐待防止をするために家庭教育が必要という認識のもと、「家庭教育講座」実施や、起きないような教育や起きたときの早期発見などに努力してまいりたい。

# 四季を通じた観光行政の恒久的な対策を！

## ○観光行政○津軽地域消防広域化○国保税○平川市食育推進計画



齋藤 律子 議員

観光客が四季を通して楽しめる観光行政が必要ではないか

齋藤 平川市には、この夏、ねぶた祭りや北限に観る蓮の花まつり、スタジオジブリのアニメ「借りぐらしのアリエッティ」の参考となった盛美園など、大変にぎわい、例年より多く観光客が訪れた。一時的なものとして終わらせないためにも、眠っている観光資源

の掘り起こしや食文化、郷土芸能、特産、もてなしの心などを含めた総合的な計画が必要ではないか。

市長 12月の新幹線全線開業及び合併5周年を記念して、今年から「ひらかわねぶたまつり」冬の陣」として、誘客のためPRに努め冬の一大イベントにしていきたい。また、新たに、観光ガイドを養成し、体験と対話のできる旅行商品づくりと売り込みを計画している。冬を含めた年間の観光コースを設定し、観光関連企業に商品として売り込み、観光客に来てもらえる環境づくりを進めていきたい。

消防の広域化で市民の生命と財産は守られるのか



今年の夏は大盛況!! 盛美園内にある盛美館

果や消防力強化、職員能力の向上などと、消防の広域化はよいことづくめの説明であるが、実質的な吸収とも聞こえる。①広域化で市民の生命と財産は守られるのか。②メリット・デメリットについての見解。

市長 ①火災、救急等災害発生時には、黒石消防署、弘前東消防署等から応援出動が可能となるので、消防力は今以上に強化され、市民生活の安全・安心に寄与できると考えている。②地域によっては、救急車などの現場到着時間の短縮が可能となり、警防・予防人員の強化や通信指令装置の更新経費の削減が可能となるメリットがある。デメリットについては、消防自動車等の銘板変更と、消防本部の事務室増築の経費が想定されるが、一時的なもので、市民生活に及ぼす影響は少ない。

齋藤 弘前地区消防事務組合への統合は、人員削減、人件費削減などの財政効

## 第2回臨時会

平成22年第2回臨時会は10月5日に招集され、財産の取得について1件が提案され、委員会付託を省略し審議した結果、全会一致で原案可決となりました。

### ●財産の取得について

消防自動車の取得について、9月17日に契約解除したことに伴い、消防活動に支障を来さないよう、年度内に納入するため早急に入札を行い、落札者が決定したため、議会の議決を得るため

### ◇取得する財産…消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車

◇契約の相手方…弘前市大字早稲田2丁目3-15 笹消防資材代表 笹孝

◇取得価格…3123万7500円

### 【本会議質疑】

**問** 前回と機種や仕様は全く一緒なのか。

(齋藤律子議員)

**答** 仕様書は若干変更がある。基本となる消防自動車の車両変更はできないので、小型動力ポンプの規格を「4サイクル」

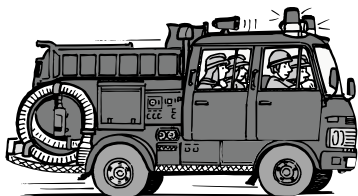
を削除し、「自動給水機能」及び「電子制御燃料噴射機能付」という文を追加している。(消防長)

**問** ①納期はいつか。②どこに配置されるのか。③今まで使っていた消防自動車の取り扱い。

(山田尚人議員)

**答** ①3月25日を予定している。②消防ポンプ自動車は新屋、小型動力ポンプ積載車2台は沖館と新山に配置される。③廃車の予定である。

(消防長)



## 第3回臨時会

## 期末手当等減額に！

平成22年第3回臨時会は11月26日に招集され、昨年に引き続き、議員等の期末手当の引き下げに伴う条例改正案4件が上程され、原案どおり可決されました。国家公務員の給与改定等、県の人事委員会の勧告を受け、期末手当等を引き下げました。また、専決処分された補正予算1件は原案どおり承認されました。

### ●平川市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案(平成22年12月1日から施行)

市議会議員の平成22年12月に支給する期末手当の支給割合を0・1カ月減額する。

平成23年4月以降は6月、12月合わせて0・1カ月分減額となる。

### 【本会議質疑】

**問** ①人事院勧告等に従わなければ、ペナルティはあるのか。②市の職員もあわせて今回の改正で、どれくらい金額の差があるのか。

(齋藤 剛議員)

**答** ①交付税が減額されてくると御理解いただきたい。②4件とも減額改正で12月の給料において

全体で14万195円の減額となり、12月の賞与については全体で23337万5415円の減額となる。

(総務部長)

●平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案(平成22年12月1日から施行)

特別職(市長・副市長・収入役)の12月に支給する期末手当の支給割合を0・1カ月減額する。

平成23年4月以降は6月、12月合わせて0・1カ月減額となる。

### ●平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案(平成22年12月1日から施行)

教育長の平成22年12月

期末手当の支給割合を0・1カ月減額する。

平成23年4月以降は6月、12月合わせて0・1カ月減額となる。

●平川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案(平成22年12月1日から施行)

国家公務員の給与改定等にかんがみ、職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当を減額し、その他所要の改正を行う。

平成23年4月以降は6月、12月合わせて0・1カ月減額となる。

### 【本会議質疑】

**問** 当市の(※)ラスパイルス指数は全体的にみるとどうなのか。

(工藤竹雄議員)

**答** ラスパイレス指数は94・1で、市の中では下位に該当する。(総務部長)

## 議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。詳しくは議会事務局へ

電話 (0172) 44-1111 (内線1512、1511)

※ラスパイルス指数：国家公務員の行政職の基本給を100とした場合、地方公務員一般行政職の給与水準を表わす。

●専決処分の承認  
平成21年度平川市大坊財産区一般会計補正予算(第1号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ198万8000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ201万9000円とする。



# 建設経済常任委員会・教育民生常任委員会 所管事務調査報告

▼今井チームリーダー（写真中央）から管理・実験棟内で説明を受ける。



●調査期間  
平成22年9月27日(月)

●出席議員(合計15名)

【建設経済常任委員会】

齋藤 政子、小野 敬子、

古川 敏夫、木村 兼由、

齋藤 剛、山田 尚人、

大澤 敏彦 (計7名)

【教育民生常任委員会】

佐々木利正、齋藤 正明、

小田桐信勝、福土恵美子、

佐藤 雄、齋藤 律子、

葛西 清仁、大川 登、

(計8名)

●欠席議員

【建設経済常任委員会】

山口 昇 (計1名)

●随行者

議事事務局主幹兼議事係

長 清藤哲彦、主査 長尾

陽子

## 植物工場視察

●調査場所

黒石市 独立行政法人青森県産業技術センター 農林総合研究所

●調査目的・内容

植物工場を視察し地域資源、エネルギー活用とコスト省力技術で植物工場に必要な機器や技術の開発を調査する

●説明者

農林総合研究所植物工場プロジェクトチームリーダー 今井照規

●結果

【植物工場とは】  
作物の生育状況に応じ、光や温度、二酸化炭素、養分、水分等の栽培環境を高度に制御することにより、野菜等を計画的に周年生産できる施設。

北国に適した植物工場の普及拡大に必要な研究課題に取り組みながら、企業や大学との共同研究による新技術の開発を行っている。平成21年度に寒冷地対応型

植物工場拠点として国の補助を受けて施設整備した。

●感想(抜粋、要約)

人工光(LED)による植物工場の栽培システムは、今後後継者不足など自給率の低下が予想される中、全天候型栽培が必要となると思う。現時点では施設費や光熱費等採算が合わない状況だが、今後の研究成果を期待したい。

太陽光発電の研究やハウスの構造、もみ殻の活用で雪を保ち、夏の冷却水に利用するなど、いろいろな研究の成果が地域に還元されることを望む。

## 津刈ダム視察

●調査場所

平川市碓ヶ関 津刈ダム

●調査目的・内容

津刈ダムの撤去現場を視察し、現状と問題点について調査する。

●説明者

経済部農林課 課長 鳴海和正、同課 農村整備係長 中江貴之、碓ヶ関総合支所経済建設課 課長 田邊辰男、同課 建設係長 北道正人

●結果

ダム機能不全で、漏水している。このままの状態にしておくことは危険である。

早瀬野ダムができた時点で、水量はそちらで賄えており、国では津刈ダムは廃止の方向。

河川管理者は堤体ごとなくす要望であるが、事業費の関係で、今回は堤体の高さは変わらず、部分的に川の部分を切り返して、ダムの埋め立てに使う予定である。



▲津刈ダム 底には泥がたまっており、水位はあまりない

●感想(抜粋、要約)

現場を確認し、現状説明を受け、久吉・船岡地区への災害回避や環境保全のためにも早期撤去が必要だと思ふ。

農家負担につながる必要である。掘削盛土等かなりの土砂移動が予想されるので、下流域への土砂の流出がないよう万全の計画・施工を求めたい。

工事終了後に7町歩の土地が残るといふが、土地の有効利用という目的で整備し、市に管理委託しないことを望む。

▼堤体の上にて説明を受ける(右側ダム、左側斜面下田んぼ)



## ＊ 議会の動き ＊

### 平成22年

- 9月2日 議会運営委員会
- 3日 議会広報特別委員会
- 5日 平川市労働福祉大運動会に議長出席
- 〃日 第29回チャリティー商工会員とその家族、従業員慰安会並びに永年勤続者表彰式に議長出席
- 7日 第5回高齢者軽スポーツ大会に議長出席
- 19日 祝敬老お楽しみ会（碓ヶ間地域）に議長ほか出席
- 20日 平川市長寿福祉大会に議長出席
- 22日 猿賀神社十五夜大祭に議長ほか出席
- 〃日 平成22年黒石地区交通安全大会に副議長出席
- 25日 津軽みらい農業共同組合第2回通常総代会に議長出席
- 27日 建設経済・教育民生常任委員会所管事務調査
- 28日 青森県料理飲食業生活衛生同業組合創立記念式典及び第62回年次黒石大会に議長出席（黒石市）
- 10月5日 第2回臨時会
- 6日～7日 青森県市議会議員研修会（三沢市）に議長ほか出席
- 7日 青森県市議会議長会事務局職員研修会（青森市）
- 25日 平成22年度第3回平川市地域公共交通協議会に議長出席
- 26日 第5回平川市学校音楽発表会に議長出席
- 26日～27日 平成22年度東北市議会議長会事務局局長会議に局長出席（岩手県花巻市）
- 27日 青森県市議会議長会事務局局長会議に局長出席（岩手県花巻市）
- 27日 平川市自衛隊協力会第3回総会に議長出席
- 29日 第44回青森県食品衛生協会に議長出席
- 11月1日 東北新幹線新青森開業試乗会に副議長出席（青森市）
- 5日 保育料軽減についての陳情に議長対応
- 〃日 農業委員会からの要望に議長対応
- 〃日 知事を囲む懇談会に議長、局長出席（青森市）
- 9日 平成22年度青森県市議会議長会第2回定期総会に議長、局長出席（五所川原市）
- 11日 平成22年交通安全青森県民大会受賞祝賀会に議長出席（黒石市）
- 12日 全国市議会議長会第89回評議員会に議長出席（東京都）
- 16日 平成22年第2回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市）
- 21日 東北新幹線全線開業記念イベント《inいかりがせき》に議長ほか出席
- 22日 平成22年度高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会に議長出席（青森市）
- 24日 議会広報特別委員会
- 26日 第3回臨時会
- 28日 「平川市民文化祭2010」舞台発表に議長出席
- 29日 平川市自衛隊協力会会員懇談会に議長ほか出席

### 【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

（印）

請願（陳情）者 住 所 名  
 紹介議員 氏 氏 名

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理 由】

### 請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

### 編集室から

◆世界一の借金大国日本。国と地方の借金は約1千兆円。とても想像つかない金額ですが、1万円札を積み上げると、約1万キロメートル。地球の直径とほぼ同じ長さになるそうです。（国民1人当たり763万円）5年前に比べて、約2倍（1.86倍）。

◆ギリシャより、重症とされている日本。私たちはどうすればいいのでしょうか。

◆だれの責任か、ではなく一人一人が考えていかなければならないと思います。特に政治に関わる一人として痛感します。

◆今年はいろいろ迷走した1年でしたが、来年はうさぎ年。進路を見失わず着実に前進し、大借金の「大」だけでも取りたいと願うものです。

（齋藤政子）